

An isometric illustration of a city integrated with hydrogen energy infrastructure. The scene includes a hydrogen station with multiple dispensers, a hydrogen tanker ship on the water, wind turbines for power, solar panels on buildings and a large ground array, and various vehicles like cars, trucks, a motorcycle, and a train. Buildings are shown with different types of fuel cell systems. The overall theme is a sustainable, hydrogen-powered urban environment.

2-④.構想作成支援、 ウェブサイトコンテンツの紹介

水素ステーション

水素タンカー

燃料電池フォークリフト

燃料電池車

水素発電

風力発電

燃料電池バイク

水素パイプライン

業務・産業用燃料電池

太陽光発電

水素製造プラント

2-④.構想作成支援、
ウェブサイトコンテンツの紹介

地域再エネ水素ステーション

燃料電池トラック

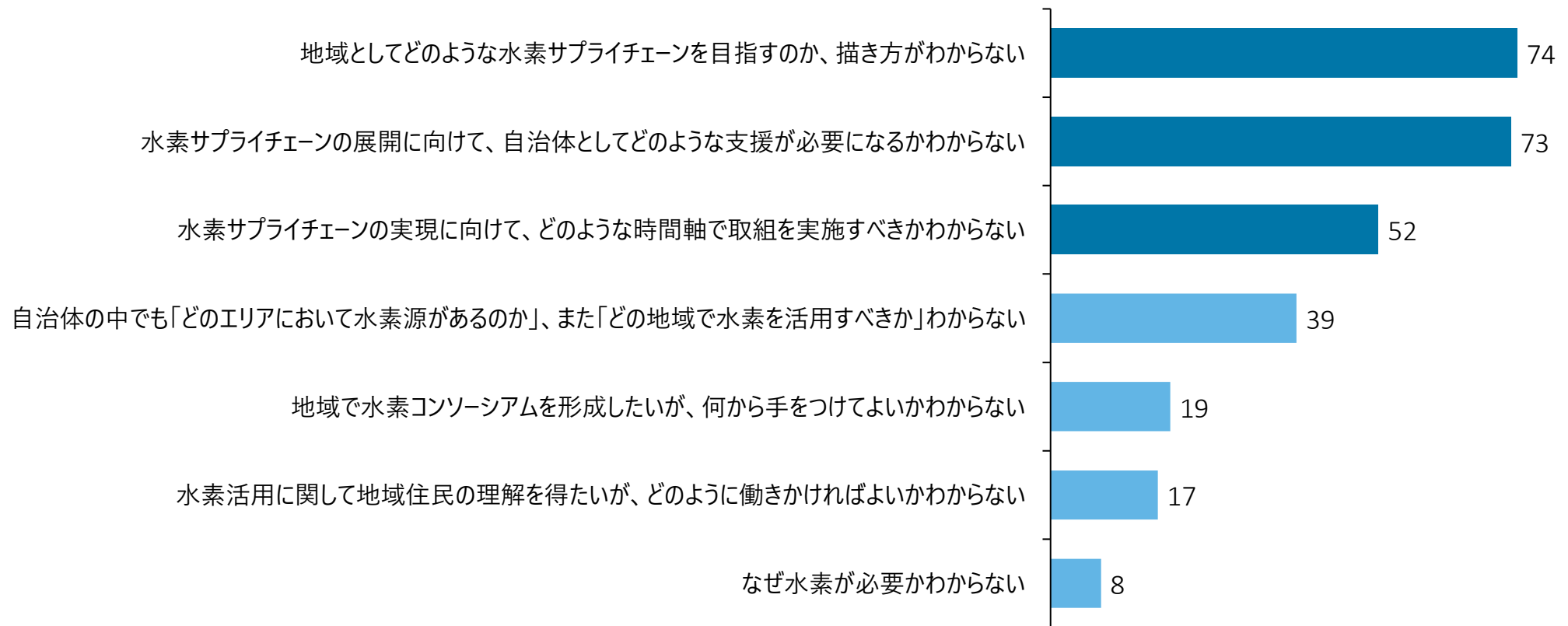
燃料電池連節バス

燃料電池鉄道車両

自治体連絡会議の事前アンケートの結果、水素サプライチェーンの描き方や、自治体による支援対象について、特に難しさを感じている自治体が多いことが分かりました

事前アンケートの集計結果(9/19時点)

水素サプライチェーンを構築するにあたり、お困り事項はございますでしょうか（回答率75%）



【支援内容全体像のご紹介】

自治体の皆様の検討段階に沿った支援を行っています

検討段階ごとの支援

①～⑤の各段階へのコンテンツ詳細は4P参照

① 進め方の全体像：自治体向け事業実施マニュアル

計画を作る

地域でどのように水素を活用していくか、イメージをまとめる

② 「上位計画への位置づけ」

体制を検討する

地元企業や住民に方針を発信し、仲間を集める

③ 「情報発信～協議する場の設立」

事業を構想する

どういった水素サプライチェーンを組むのか、事業案を検討する

④ 「地域の詳細分析～事業モデルへの具体化」

実行に移す

事業案を検証（FS）、機器を導入（実証）する

⑤ 「FS～実行フェーズ」

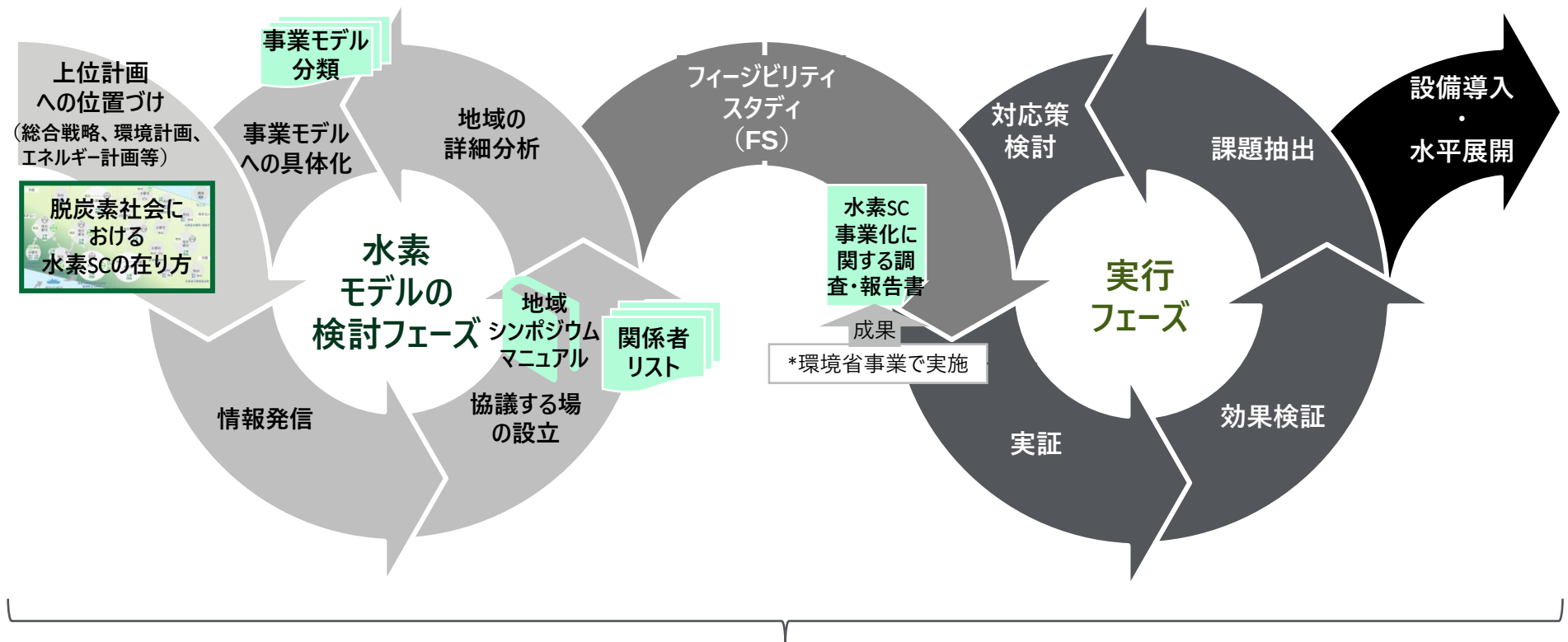
今年度
公募中の支援

■ 構想作成支援

- 「水素の地域モデル判定ツール」や統計データを用いて、水素の利活用イメージの整理を支援します

環境省では、水素事業の検討から実行までの各フェーズでご活用いただけるコンテンツを提供しています。また、各自治体のニーズに合わせた支援（構想作成支援）を実施します

水素事業の検討から実行までの流れ



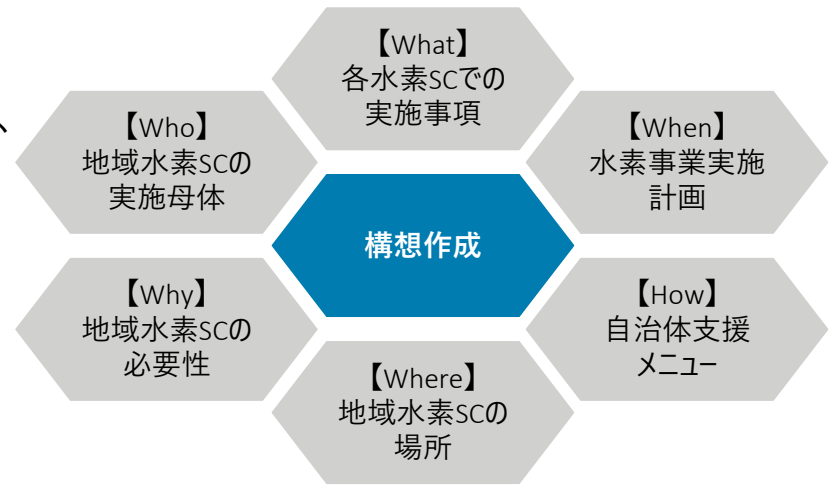
■ 構想作成支援（次頁参照）

- 水素関連事業に取り組む意向のある自治体に対して水素事業の実施を支援することで、今後自治体自ら水素普及に取り組める環境整備を目指します

今年度
公募中の支援

構想作成支援では、水素関連事業に取り組む意向のある自治体に対して水素事業の実施を支援することで、今後自治体自ら水素普及に取り組める環境整備を目指します

構想作成支援の目的

背景	■ <u>水素事業に取り組む意向はある</u>が、地域としてどのような水素サプライチェーンを描くべきか、自治体としてどのような支援が必要になるか分からないなど、<u>自治体としての水素サプライチェーン事業の構想作成自体に関するお悩みを多くいただいている</u>
目的	■ 水素事業の取り組みに繋がる構想作成を支援することで、今後<u>自治体自ら水素普及に取り組める環境を整備</u>する ■ コンテンツ（※次ページにて説明）を用いた支援により、<u>地域として描く水素サプライチェーン像を明ら</u>かとする ■ 地域水素サプライチェーンの<u>取組母体の構築を支援</u>する 
対象自治体	■ 水素事業に取り組む意向はあるが、水素事業経験がなく、計画策定の着手方法が分からない自治体
支援方法	■ 各自治体からの支援依頼内容に応じて、必要なコンテンツをご提供する ■ ご希望のある場合はオンラインMTGを設定し、幾つかの自治体のご相談を受け付ける



https://www.env.go.jp/seisaku/list/ondanka_sais/ei/lowcarbon-h2-sc/company/local.html

検討段階に応じた支援コンテンツをご利用いただけます

コンテンツ概要

検討段階	コンテンツ名	内容	ご活用いただきたい場面
① 進め方全体像	自治体向け事業実施マニュアル	■ 自治体が主体となって水素事業を進める際、進め方や利用可能なコンテンツ全体を俯瞰するためのマニュアル	□ 検討手順の全体像を把握したい □ 「どのタイミングで」、「どの支援コンテンツを活用できるか」を知りたい
② 上位計画への位置づけ	水素の地域モデル判定ツール	■ CO2の排出量や街づくりの意向を選択すると、地域に適した水素の将来像を簡単に把握できるExcelファイル	□ 自地域に適した水素モデルを知り、将来像を具体化させたい
	水素によるGHG削減効果算定ツール【簡易版】	■ 水素事業に精通していない段階でも、簡易的にGHG削減量の規模感を把握できるExcelファイル	□ 水素の活用により、どの程度GHGが削減されるか概算したい
③ 情報発信～協議する場の設立	各種広報コンテンツ	■ 環境省水素事業の概要をまとめたパンフレット、リーフレット、動画、VR動画 ■ 小学校高学年以上を対象とした環境学習プログラム	□ 地域の企業や市民への説明に活用できる資料がほしい
	地域シンポジウム実例集	■ 地域における水素シンポジウムの開催実例集	□ 地域での水素活用に向けた機運醸成を図るため、シンポジウムを開催したく、過去の事例を参照したい
	水素事業関係者リスト	■ 「地域資源を活用した水素事業」に関心を持つ企業、自治体の取り組み概要などの一覧表	□ 水素事業に取り組んでいる企業や自治体と繋がり、情報共有や共同事業などを行いたい
④ 地域の詳細分析～事業モデルへの具体化	直近の成立が有望な事業モデル分類	■ 早期に成立が見込まれる水素の事業モデルを整理しています	□ どのような技術を使って、どれくらいの規模での水素サプライチェーンを検討できるのか知りたい
⑤ FS～実行フェーズ	水素によるGHG削減効果検証ツール【詳細版】	■ 自らの水素エネルギー事業を評価するための、ガイドラインや試算ツールを整備しています	□ 検討が進んできたため、水素事業全体でのGHG削減効果を詳細に把握したい
	水素SC事業化に関する調査・報告書	■ 水素の基礎情報や事業を行う際の関連法規、事業経済性の評価手法、関連動向などをまとめた年次報告書	□ 水素事業を進めるにあたって、関連法規や動向など具体的な情報を知りたい

水素サプライチェーンにご関心をお持ちの地方公共団体・企業・市民向けに、基礎情報や環境省の支援内容をまとめたウェブサイトをご用意しています

ウェブサイトのご紹介



水素サプライチェーンに関する環境省の取り組みについて知りたい

水素に関する基礎情報が欲しい

水素事業に役立つイベントに参加したい

水素を地域に導入するための検討手順を知りたい（自治体向け）

環境省から受けられる支援について知りたい

水素サプライチェーンの概要と将来像

水素に関する国内外の政策・技術動向

環境省が自治体・企業向けに開催するイベントの案内

水素サプライチェーン導入に向けた検討から実行までの流れ（マニュアル）

個別支援（構想作成支援）

実証事業の概要と成果

自治体などが企業や市民向けに開催するイベントの掲載

水素サプライチェーンの事業化に役立つコンテンツ

※イベント情報を随時受け付け、ウェブサイトに掲載いたします。掲載をご希望される地方公共団体ご担当者様は、お問い合わせ欄に記載の連絡先までご連絡いただけますと幸いです

本日ご紹介する内容

産官学の水素事業関係者の連携強化に向け、民間企業をはじめ、自治体や研究機関、NPO等を対象とした水素事業関係者リストを作成・公開しています

③ 水素事業関係者リスト

V7.0と比較して検索機能が向上し、施策の実績種別や今後取り組む領域別で関係者を絞り込めるようになりました

水素事業関係者リスト

脱炭素な地域水素サプライチェーンに関心を持つ産官学の水素事業関係者の連携強化に向け、民間企業をはじめ、地方公共団体や研究機関、NPOなどを対象とした水素事業関係者リストを作成いたします。関係者間における各者取り組み発信や情報交換の場としての連絡会の開催、関係者間のメーリングリストを活用したFS事業や実証事業のご案内などを予定しております。

水素事業関係者リスト（令和5年10月17日版）はこちら

水素事業関係者リスト Ver 8.0												一部抜粋				
組織名	組織概要		問1. これまでに実施あるいは関与した水素エネルギー関連の施策や取り組み				問2. (問1で「水素の利活用に係るビジョン・計画・方針の策定」を選択した方) 水素の利活用に係るビジョン・計画・方針の概要、関連するURL	問3. (問1で「水素利活用に係る協議会の設置あるいは参加」を選択した方) 協議会の名称、関連するURL	問4. (問1で「水素関連事業の実証事業の実施」を選択した方) 水素関連事業の実証事業の概要、関連するURL	問5. その他の水素エネルギー関連の施策や取り組みの実績内容やURL	問6. 今後参画を希望する水素サプライチェーンの領域					問7. 水素サプライチェーンに係る今後の取り組み方針
	組織種別	水素関係事業所の拠点所在地	水素の利活用に係るビジョン・計画・方針の策定	水素の利活用に係る予算の確保	水素利活用に係る協議会の設置あるいは参加	水素関連事業の実証事業					水素製造	水素輸送	水素貯蔵	水素利用	その他	
北九州市	政府・地方公共団体	福岡県					令和4年2月に「北九州市グリーン成長戦略」を策定し、高温の熱需要や長距離輸送用の商用車や船舶など電化が困難な分野の脱炭素化に水素を活用する「水素供給・利活用拠点都市」の形成を目指す。 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/002_00023.html	北九州水素タウン実証・PR事業協議会、福岡水素エネルギー戦略会議、水素エネルギー産業化実務者会議、水素バリューチェーン推進協議会	水素パイプラインを活用した技術実証では、水素ハイブリッドや燃料電池などのインフラや地域の協力体制を活用して、水素漏れを検知する水素センサー開発など9つの技術実証の支援やPRに取り組んでいる。 CO2フリー水素製造・供給実証事業では、太陽光発電や風力発電、市内のごみ発電（バイオマス）などの複数の再生設備を有効活用することで、CO2を発生させずに水素をつくり、県内各地に「はこび」、「つかう」、CO2フリー水素の低コストなサプライチェーンモデルの構築を目指して、環境省からの委託を受けて実証に取り組んでいる。 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/28900005.html https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/00200164.html	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/file_0474.html						「水素供給・利活用拠点都市」の形成を目指す。2030年度までの取り組みとして、経済性の高い水素を供給するための供給側と、水素の利活用を促す需要側の両面から実証等の取り組みを進める。具体的には以下の取り組みを推進する。 ・水素利活用の拡大に向けた連携体制の構築 ・都市ガス導管等の既存インフラを活用した供給実証（合成メタン） ・大規模な水素供給に向けた検討 ・市内水素を活用した水素の需要喚起とマッチング ・ゼロカーボン物流の形成
関西広域連合エネルギー検討会	政府・地方公共団体	大阪府					「将来における関西圏の水素サプライチェーン構想」 関西圏における水素エネルギーの利活用の拡大に向けた広域的な取組について検討を行い策定した。関西圏における水素の製造・輸送・貯蔵・輸送、利活用までのサプライチェーン構想	「関西水素サプライチェーン構想実現プラットフォーム」 「将来における関西圏の水素サプライチェーン構想」の実現に向けたプラットフォーム。事業者、試験研究機関、支援機関及び行政が、関西における水素関連の情報共有と意見交換を行うことにより、広	-	-					「将来における関西圏の水素サプライチェーン構想」の実現に向け、取組みを進めている。	

関係者リスト未登録の皆様は掲載依頼フォームの記入、既にご登録いただいている皆様は情報の更新をお願いしますと幸いです

③ 水素事業関係者リスト

地方公共団体・企業の皆様へ

○ 水素事業関係者リスト

脱炭素な地域水素サプライチェーンに関心を持つ産官学の水素事業関係者の連携強化に向け、民間企業をはじめ、地方公共団体や研究機関、NPOなどを対象とした水素事業関係者リストを作成いたします。関係者間における各者取り組み発信や情報交換の場としての連絡会の開催、関係者間のメーリングリストを活用したFS事業や実証事業のご案内などを予定しております。

水素事業関係者リスト（令和5年10月17日版）はこちら

掲載依頼方法

参加を希望される水素事業関係者の皆様は、募集要領をご確認の上、以下のフォームより掲載依頼をお願いいたします。

水素事業関係者リストへの掲載依頼は通年受付の方針です。

募集要領[PDF 632KB]を見る

掲載依頼フォームへすすむ

目的

- ① 自治体がパートナー企業を探す上での参考情報を提供する
- ② 自治体が他の自治体と繋がる上での参考情報を提供する
- ③ （補足）企業が自治体と繋がる上での参考情報を提供する

アップデートの方針

- バージョンアップデートは、年に1回「自治体連絡会議」の1か月後を目処に行います
 - 今回は10/18までのご記入で今年度版に反映可能です
 - ご担当者や登録内容に変更がないかご確認ください
 - 既にご登録いただいている皆様には、更新時期に確認依頼のメールをお送りいたします
- 公開リストへの追加は年1回のアップデート時に行いますが、新規応募は通年受け付けております
- 本会議終了後にご回答いただくアンケート（Forms）内のリンクや、ウェブサイトの応募フォームから随時ご応募・ご更新いただけます

掲載依頼フォームへはこちらからもアクセスいただけます



[水素事業関係者リスト掲載依頼フォーム \(R6\) \(office.com\)](#)